伊那谷サマースクール 2019
in みのわ 報告書

2019年11月

一般社団法人Unicul Laboratory

若い世代に、未来を描き、
切り拓くチカラを。
UnicuL LABORATORY

ご挨拶

去る8月5日・6日、長野県箕輪町にて「伊那谷サマースクール2019 in みのわ」を開催いたしました。第二回の開催となった今年度のサマースクールには、11名の高校生にご参加いただきました。

至らぬ点も多々ございましたが、ご後援いただいた箕輪町、箕輪町商工会、上伊那広域連合、郷土愛プロジェクト、ご協力いただいたさくら・みらい塾、箕輪町ものづくり交流プラザをはじめ、地域の皆様の温かな支えのおかげで、昨年度に引き続き箕輪町にて無事に企画を開催することができ、より多くの高校生に参加していただけました。この場を借りて、皆様に心より御礼を申し上げます。

わたしたちの取り組みが、地域の高校生の将来に、少しでも役に立てていれば幸いです。

一般社団法人Unicul Laboratory
伊那谷サマースクール　プロジェクトリーダー
亀山奈那子

若い世代に、未来を描き、切り拓くチカラを。
UniculLABORATORY

開催概要

- 日程：2019年8月5日(月) 9:30～19:00
  6日(火) 9:30～17:00
- 会場：箕輪町商工会館
- 参加者：高校1・2年生 11名
  - 学校：赤穂高校 1名、伊那北高校 4名、伊那西高校 4名、岡谷東高校 1名、山梨県立富士河口湖高校 1名
  - 居住地：箕輪町 4名、伊那市 6名、山梨県 1名
- 実施体制
  - 主催：一般社団法人Unicul Laboratory
  - 後援：箕輪町、箕輪町商工会、上伊那広域連合、郷土愛プロジェクト
  - 協力：さくら・みらい塾、箕輪町ものづくり交流プラザ

※本事業は箕輪町地域総合活性化事業交付金を頂いて実施させていただきました。

若い世代に、未来を描き、切り拓くチカラを。
UniculLABORATORY

プログラム紹介：企画に込めた想い

1st Stage 人を知る 地域を知る	**多様な人生**を生きる大人に出逢い 将来の**可能性を広げる**
2nd Stage 過去・現在・未来の 自分と向き合う	誰とも比較できない 「**自分らしさ**」に**自信を持つ**
	自分の「**やりたい**」に目を向け、 「**やりたいこと**」に向かって歩む

プログラム紹介：概要

　ワークショップ（「WS」と表記）と体験活動を組み合わせ、主体的に、楽しみながら学べるプログラムとしています。

1st Stage **人を知る** **地域を知る**	**《①人生座談会》** 　大学生や地域で活躍する大人の多様な人生に触れ、将来へ希望を持ち、選択肢を広げる **《②人生路線図WS》** 　質問を通じて他者の価値観を掘り下げる考え方を身につける
2nd Stage **過去・現在・未来の** **自分と向き合う**	**《③ピクトグラムWS》** 　過去の経験をもとに、現在の自分の価値観を定義する力を養う **《④未来のdoとbeを描こう》** 　自分の興味関心と進路選択との関連を見出す方法を身につける **《⑤無人島WS》** 　目的・目標に向けて実働するために必要な考え方を身につける

プログラム紹介：当日タイムライン

1日目

9:30-11:00	オープニングセレモニー
11:00-12:30	**①人生座談会**
12:30-13:30	昼食、大学生・社会人・地域の方々との交流
13:30-16:00	**②人生路線図ワークショップ**
16:00-19:00	夕食、レクリエーション

2日目

9:30-11:30	**③ピクトグラムワークショップ**
11:30-12:30	**④未来のdoとbeを描こう**
12:30-13:30	昼食、大学生・社会人・地域の方々との交流
13:30-15:30	**⑤無人島Quest！ワークショップ**
15:30-17:00	エンディングセレモニー

プログラム紹介：当日の様子

①人生座談会

大学生が高校時代から現在までの歩みを出来事とモチベーショングラフを示しながら話しました。高校生は話を聴いた上で、「なぜその大学にしたの？」「どうやって苦しい時期を乗り越えたの？」などの質問をしました。イメージしていた受験や大学生活とは異なる話も聴くことで、進路について改めて考えるきっかけとなったようです。

プログラム紹介：当日の様子

②人生路線図ワークショップ

　様々な経緯から長野や東京で働く社会人ゲストの方からこれまでの人生についてお話を伺いました。肩書きや経歴に惑わされずその人の価値観を知るためには「なぜそうしたの？」「自分ならこうするけど、なぜこうしなかったの？」などの問いが重要、という説明を受け、高校生からは鋭い質問が飛びました。普段接することの少ないゲストに対し興味を持って話を聴く様子が印象的でした。

プログラム紹介：当日の様子

②人生路線図ワークショップ

お越しいただいたゲストの方々

■羽場さん
・出身：長野県
・現在の仕事：ライター、編集、地域コンサルタント

■杉山さん
・出身：岐阜県
・現在の仕事：地域おこし協力隊

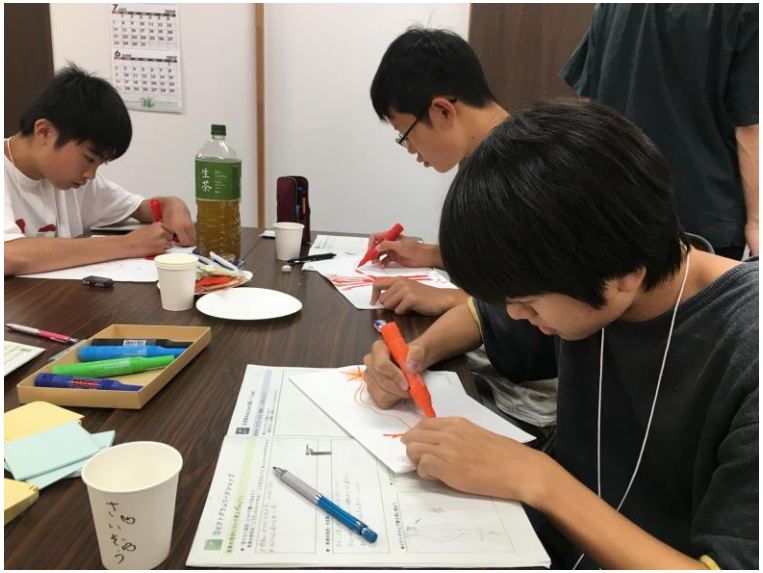
■山口さん
・出身：京都府
・現在の仕事：日本企業の海外進出支援を行うベンチャー企業

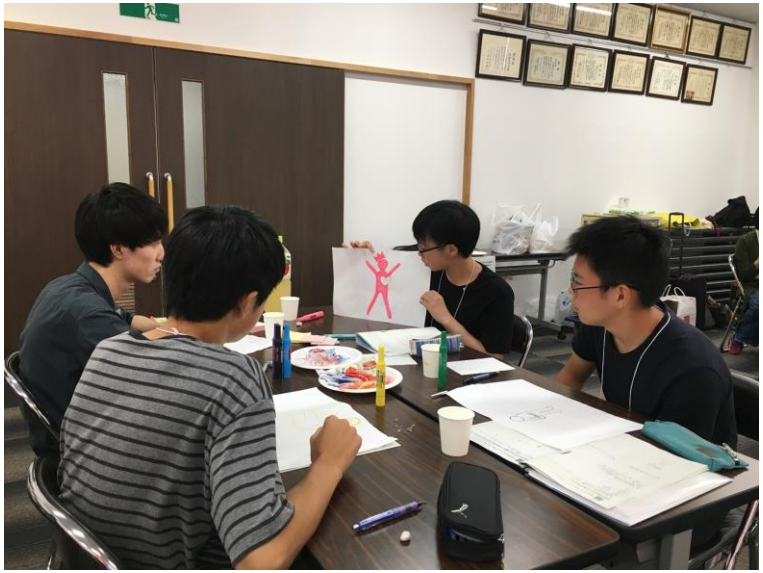
ゲストの方のお招きするにあたり、地域の皆様から様々な方をご紹介頂きました。誠にありがとうございました。

プログラム紹介：当日の様子

③ピクトグラムワークショップ

自分の過去の経験を振り返りながら、モチベーショングラフをつくり、人生3大エピソードを書いたあと、将来の自分のありたい姿をピクトグラムで表現しました。自分はどんな性格や価値観を持っているのか、それは過去のどんな感情から結びついているのか、改めて自分と向き合い、自分らしさを再発見する様子も見受けられました。





プログラム紹介：当日の様子

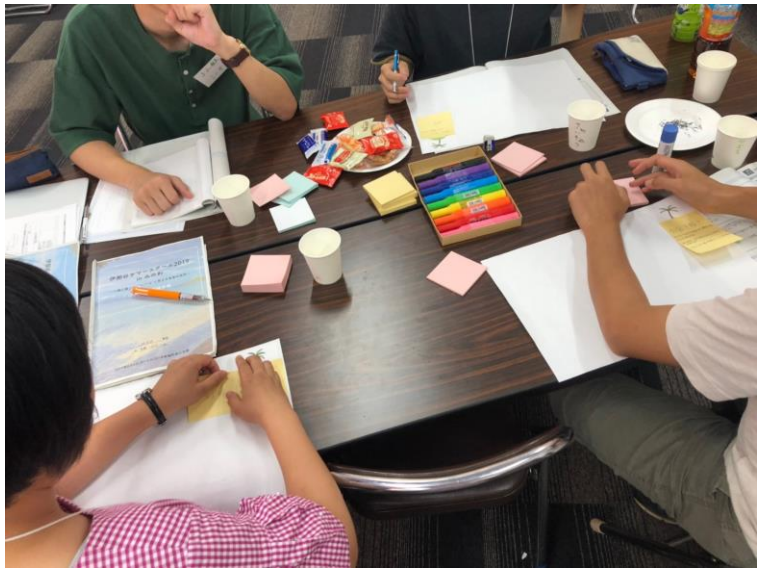
④未来のdoとbeを描こう

「なりたいもの（職業）」と、その職業になった先に「やりたいこと」を見つけるワークを行いました。職業が明確な高校生はその裏付け深堀り、そうでない高校生はまず興味がある事柄をリストアップ、それらと「やりたいこと」「ありたい姿（③のWSを参照）」がリンクする職業を考えました。興味関心を明らかにすることに難しさや抵抗を覚えながらも、大学生や地域の方々とともに考え抜くことができました。

プログラム紹介：当日の様子

⑤無人島Quest！ワークショップ

　自分のなりたいもの・やりたいことを無人島というゴールに見立て、ゴールを達成するために必要な行動計画を無人島までの道のりとして考えました。ある道が通れなくなった場合を想定する中で、実現に近づく別の方法や譲れないことを見出し、ゴールに対する自らの想いの強さを確認しました。



プログラム紹介：当日の様子

大学生や社会人との交流

　レクリエーションと夕食・昼食や休憩時間には、大学生や社会人の方々との交流の場を設けました。学校の話、芸能人や音楽・ゲームの話から進路選択や大学生活の話まで、幅広い話題で親睦を深めました。普段接する機会の少ない大学生・社会人だからこそ楽しみながら、あるいは真剣に聴き入り、悩み相談を行ったりと有意義な時間を過ごしました。

プログラム紹介：当日の様子（オープニング・エンディングセレモニー）

アンケートより

参加者

《ワークショップ》

★人生路線図

- ゲストの方々のこれまでの人生についてを聞き、そこから得た教訓やもともと持っていた考えについて、自分では思いつかないような考えもたくさんあり、それについて考えて探求することができて楽しかった。
- 大学以降の進路についても考えるきっかけになった。

★未来のdoとbeを描こう

- 自分のやりたいこと、気になること、興味があることを積極的に考えられた。

★無人島Questワークショップ

- 自分が就きたい職業に就くためにはどうすれば良いのか考えるのが少し難しかったが、その分具体化されて良かった。
- 道は1つじゃないことが学べた。
- 大勢の方が、自分の進路について真剣に考えてくれたことが嬉しかったし、ありがたかった。

アンケートより

参加者

《サマースクール全体を通して》

- 将来のことについて考える為の手がかりが1つとなかった状況だったので助かった。自分の将来のことについてあやふやなままにせず真剣に考えていきたい。

- 今まで進路について考えようと思っても、どこから、なにから考えれば良いかわからなかったが、今回サマースクールに参加したことで、進路について考えるきっかけにもなり、何事にも挑戦してみようという意欲にも繋がった。そして何より、大学生の方々といっぱい話ができていろんなお話をきけてとても楽しかった。

保護者

- 「すぐには役に立たないように見えても やがてこころの底ふかく沈んで いつか生きる指針となるような。」そんな体験になったのだと信じています。ご縁をいただけてありがたかったです。

- 自分から進学について、学部について調べたりするようになりました。

- 将来の夢が持てないでいることに不安を感じているようですが、成功例だけでないお話も聞けて気持ちが軽くなった様子でした。

若い世代に、未来を描き、切り拓くチカラを。
UniCuL LABORATORY

メディア実績①

伊那弥生ヶ丘高校での説明会の様子が長野日報で、サマースクール当日の様子がみのわ新聞で掲載されました。

長野日報

〔第三種郵便物認可〕

自分らしさ 見詰め直す

伊那弥生ケ丘高校（伊那市）

伊那弥生高２年生がキャリア学習

ユニカル・ラボラトリーのメンバー講師に

2年生は6月21日、中高生のキャリア教育に取り組む一般社団法人「Unicul Laboratory（ユニカル・ラボラトリー）（東京都）」によるキャリア学習を行った。ワークショップ「自分クッキング」に挑戦し、自らを見詰め直す機会とした。

講師は、ともに法人のメンバーで上智大学3年生の堀美樹さん（22）＝山梨県出身＝と、青山学院大学2年生の上田矢さん（21）＝飯田市出身＝。堀さんは体験前、「人は一つの要素だけでは成り立たない。いろいろな要素が掛け合わさって自分らしさを考えて」と呼び掛けた。

生徒は自らの性格や興味の行動を振り返り、強みや弱みなど自分を形づくる要素を四つ考えた。足りない要素として、目を挙げた増田友希乃さん（16）は、希望する進路の実現に向けて「コミュニケーション能力を身に付けたい」。松井鈴花さん（17）は「自分が周りからどのように見られているのかを知ることができた。進路選択の参考にしたい」とした。

同法人は、大学生や大学院生、若手社会人が共同で運営する団体。東京都を中心に全国でキャリア学習イベントを実施している。学校のキャリア学習支援を行っている。昨年に引き続き今年も「伊那弥生マースクール2019inみのわ」（8月5～6日、箕輪町）を開く。

堀さんとシャドバイスをもらいながら自分を形づくる要素を考える2年生

ラベンダーを使った精油や芳香蒸留水の抽出を見学する生徒たち

〔第三種郵便物認可〕

箕輪

不戦の誓い 令和でも

町戦没者慰霊祭

箕輪町出身の英霊602柱の魂を慰めようと献花する遺族たち

箕輪町社会福祉協議会（平井芳則会長）と箕輪町は6月9日、2019年度戦没者慰霊祭を町文化センターで開いた。町内の遺族ら約80人出席。日清・日露から第2次世界大戦までに戦死した町出身の英霊602柱の魂を慰め、さらなる恒久平和と地域の振興を誓った。

箕輪町社会福祉協議会の福沢会長は「戦争を知らない世代が多くなる中で、慰霊祭の開催はとても尊い。赤紙一枚で戦地に送られ犠牲になった多くの英霊のことは忘れるべきではない。遺族会は年々高齢化しているが、不戦への思いは出来得る限り伝えていきたい」と改めて決意を示した。

慰霊祭では、オカリナ・コール「24の瞳」（北原事子作詞、高橋民夫作曲）＝箕輪町＝による慰霊演奏も行われた。

未来の自分 WSで描く

高校生対象にサマースクール

箕輪町商工会館

大学生らとのWSで将来の歩み方などを学ぶ上伊那の高校生たち

箕輪町商工会館を会場に5日から、「伊那谷サマースクール2019inみのわ」が始まった。町内などの高校生11人が参加し、きょう6日まで2日間の日程で、体験型のワークショップ（WS）を通じて進路の決め方や考え方、将来に向けての歩み方などを学んでいる。

都内を中心に、中高生のキャリア教育に関する活動に取り組む一般社団法人「ユニカルラボラトリー」の主催。20歳代の社会人や現役大学生による企画・運営で、昨夏に次いで2回目の町内開催。自分が住む地域や人を知り、目的や目標を持った進路選択を考える方法を習得してもらう。

伊那北高校出身の大学生らが講師を務め、3、4人ずつの3グループでWS。自分の歩みを振り返って「人生の三大エピソード」を作成、それを基に将来を描くなどの研修で自分を知り、今後の進路選択における判断材料にしている。

スタッフリーダーの亀山奈那子さん（20）＝東京外国語大学3年＝は「大学生も社会人の話を聞いて、将来の選択のヒントを得てほしい」と期待。参加した高校1年の男子生徒（16）＝箕輪町＝は「勉強のモチベーションを保つ方法を見つけたい」と話していた。

イルミ週末ライブ始まる

公園内でにぎやかに

TMOネット

9月1日（日）までの「イルミネーション

（本画像は、長野日報様、みのわ新聞様の許可を得て掲載しております。）

若い世代に、未来を描き、切り拓くチカラを。
UniCuL LABORATORY

メディア実績②

サマースクール当日の様子が伊那ケーブルテレビで放映されました。

ニュース

高校生が大学生に進路について話聞く

2019年8月5日(月)

上伊那の高校生が、自分の進路や将来について大学生に話を聞く、伊那谷サマースクール２０１９が５日と６日、箕輪町の箕輪町商工会館で開かれました。
５日は、伊那北高校や伊那西高校などの１年生と２年生合わせて１１人が参加し、大学生に話を聞くワークショップが開かれました。
ワークショップは、２０１３年に東京大学の学生を中心に作られた一般社団法人ユニカルラボラトリーが開いたものです。
大学生は、「語学を学べる大学を選んだことで海外留学を経験できた」、「模試でＥ判定が出ても、その大学で学びたいという気持ちで合格した」などと話していました。

６日は、参加した高校生がやりたいことや、就きたい職業について発表が予定されているということです。

（伊那ケーブルテレビweb「伊那谷ネット」より）

実施までのスケジュール

　地域の方々に地元企業、高校の先生やゲストの方々をご紹介頂き、広報活動の拡大、内容の充実を図ることができました。多大なるご支援を頂き、誠にありがとうございました。

3月	● 企画案作成、箕輪町など訪問 ● 助成金申請
4月	● HP・チラシ作成
5月	● 参加者募集開始 ● キャリア交流会への参加
6月	● 企画案決定
7月	● 伊那弥生ヶ丘高校、伊那北高校、赤穂高校での説明会開催 ● 伊那西高校訪問
8月	● プログラムリハーサル ● 実施

主催団体 Unicul Laboratoryについて

- 首都圏を拠点に、**大学生と若手社会人が教育に関わるプロジェクトを企画・運営**。
- 2012年春に東京大学の学生有志で設立。現在はコアメンバー20名（大学生9名、社会人11名）を中心に活動中。
- **中学生・高校生のキャリア教育＜Queque＞（クエクエ）というワークショップ形式のプログラム**を開発し、学校の授業や自治体の事業などを通じて全国の中学生・高校生に届けています。
- 2018年6月に一般社団法人化。
- 2018年より箕輪町にて「伊那谷サマースクール」を開催、今年度が2回目の開催となりました。

若い世代に、未来を描き、切り拓くチカラを。
UniculLABORATORY

伊那谷サマースクール 運営メンバー

役割	名前
リーダー	亀山 奈那子
サブリーダー	堀内 美樹
メンバー	上山 航矢・桐野 耕介・五十嵐 海斗・児玉 菜緒
サポート	永野 あきほ・丸谷 華織

お問い合わせ先

一般社団法人 Unicul Laboratory

- ホームページ：http://unicul-lab.net
- 団体メールアドレス：unicul.laboratory@gmail.com
- Facebook：https://www.facebook.com/UniculLaboratory/
- Twitter：@unicul_lab

そっか！の新規展開。
UniculLABORATORY

若い世代に、未来を描き、
切り拓くチカラを。

UniCuL
LABORATORY